

うじたわら

議会だより

No. 93
2017.11.1



《目次》

定例会	2P~8P
表決結果	9P
一般質問	10P~20P
インタビュー(食改さん)	21P

町民体育大会

爽やかな秋空の下で、町民体育大会。大人も子供も協力して、競技に全力投球！

財政支出を認定

以北大きく前進

山手線整備事業 1億3,200万円を支出



湯屋谷会館横駐車場



くつわ池展望台

平成29年第3回定例会は、9月4日から9月29日まで開催した。予算関係5件(補正予算)、条例関係2件(改正2件)、人事関係1件(教育委員会委員の任命)、一般議案3件について提案があり、原案通り可決した。平成28年度決算6議案については、監査委員を除く11名で決算特別委員会を設置し審議、いずれも原案通り認定した。

一般質問には10人の議員がたち、活発な議論を展開した。

各会計の決算一覧

(千円以下切捨て)

会計名		歳入	歳出	歳入歳出差引額	
一般会計		44億 2,784万円	42億 7,363万円	1億 5,421万円	
特別会計	国民健康保険	13億 4,183万円	13億 6,527万円	△ 2,344万円	
	後期高齢者医療	1億 2万円	9,874万円	128万円	
	介護保険	保険事業勘定	7億 9,539万円	7億 7,953万円	1,586万円
		介護サービス	521万円	374万円	146万円
	公共下水道事業	5億 7,535万円	5億 5,997万円	1,537万円	
水道事業会計	収益的	2億 9,968万円	2億 6,477万円	3,491万円	
	資本的	4,294万円	2億 3,964万円	△1億 9,670万円	

平成28年度決算 未来へつながる

新庁舎基本構想・山手線緑苑坂

平成28年度は新庁舎建設計画事業費2,196万円、宇治田原

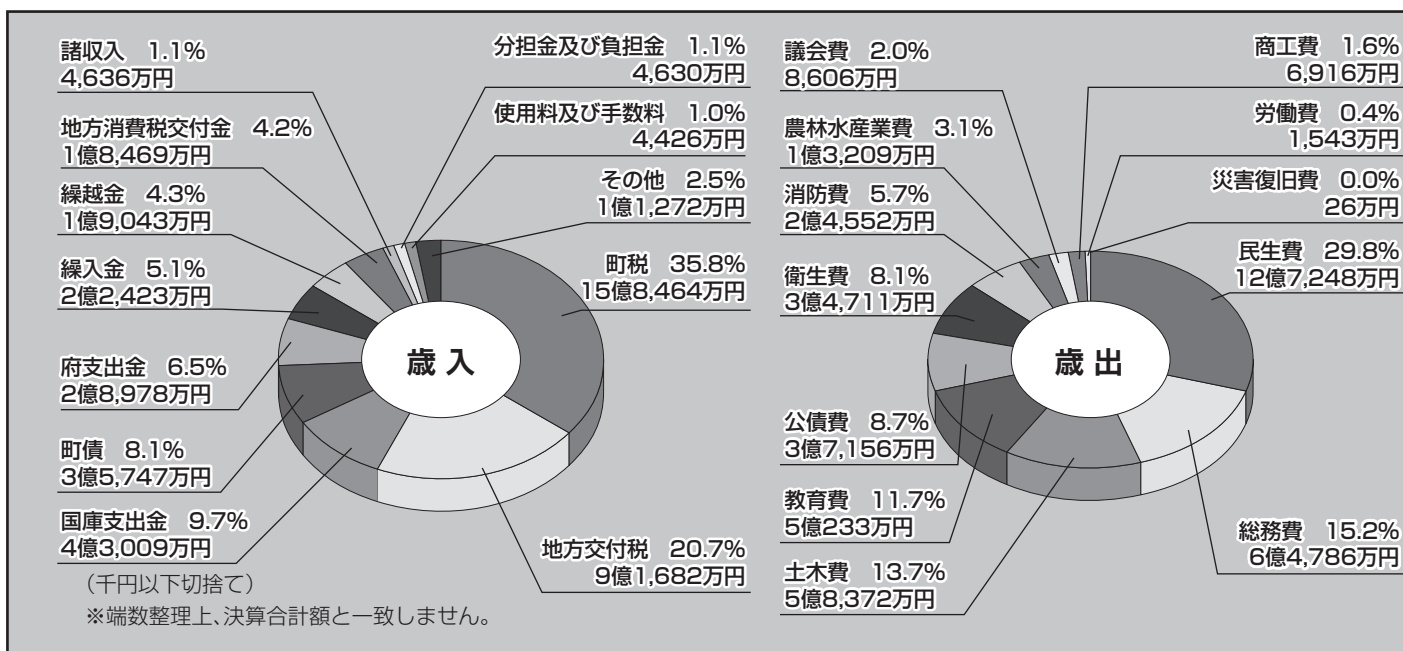
定例会



子育て支援センター



宗円生家進入路



決算特別委員会

決算特別委員会は、監査委員を除く11名で設置し、委員長に谷口重和議員、副委員長に垣内秋弘議員を選出し、審査した。



大福茶園整備予定地

9月20日決算特別委員会を開会し、平成28年度一般会計、特別会計、水道事業会計について個別審査を行った。また、9月22日、現地審査に入り、お茶の京都交流拠点整備等加速化事業【湯屋谷会館横駐車場】、観光まちづくり促進事業【永谷宗円生家進入路階段】、奥山田

大杉地域開発現場、大福

茶園再造成事業、末山・

くつわ池自然公園整備加

速化事業【トレーラーハ

ウス、展望台】の5カ所

の現地審査を実施した。

25日、総括審査に移

り、それぞれの議案につ

いて採決を行い、決算特

別委員会を開会した。

主な質疑

総括質疑

問 地方債の借入限度額

の設定について、将来的

財政負担をシミュレー

ションし、地方債残高の

上限額設定を行うべきと

考えるがどうか。

答 平成30年度の予算編

成方針作成時までに、財

政シミュレーションを示

すとともに、予算編成協

議を行う中で、起債残高

の上限額設定についても

協議していく。

問 住民の健康づくりに

おけるマンパワーの充実

について、保健師の役割

は非常に重要であり、保

健師を増員し、住民の健

康を守り、健康寿命の延

伸を図るべきだが。

答 平成29年度は、保健

師の採用試験を例年より

早期に実施し、他の自治

体に先駆けて採用内定者

を2名確保したところで

ある。保健師に限らず、

全ての職種について、職

員数が限られる中、適切

な配置により業務運営が

できるよう取り組んでい

く。

問 行政改革について、

更なる行財政改革を推進

し、持続可能な行財政基

盤を維持していくとのこ

とであるが、どの事業を

スクラップ&ビルドする

のか。また、外部委託す

るのか。

答 第6次行政改革大綱

及び実施計画の大きな視

点は「健全な財政運営」

「組織の構築と人材の育

成」「住民満足度の向上

につながる行政サービス

の提供」が非常に重要に

なってくる。事業の外部

委託についても検討すべ

き事項に含んでおり、今

後具体的な項目について

議論をしていく。

一般会計

(議案第57号)

問 総務部所管分では、

平成28年度の決算につい

て、どのように総括して

いるのか。

答 平成35年に新名神の

仮称宇治田原インターが

できることから、新しい

まちづくりに鋭意取り組

んできた。最も重要と位

置つけた「宇治田原山手

線の整備」「新庁舎建設」



改修された駐車場(湯屋谷会館)

「人口減少対策」、さらに観光施策についても積極的に推進してきた。健全財政を目指すため行財政改革にも取り組み、安心して暮らせるまちになるよう、今後も取り組んでいく。

【問】 時間外勤務手当について平成28年度は増加しているとのことであるが、町にとって職員は財産であり、長時間労働によって健康を害しては町にとって大きな損失になる。職員の健康管理はできているのか。

【答】 産業医を設置し健康相談を実施するとともにノー残業デー、ノー残業月間の設定、また、積極的な休暇の取得促進を行うことで職員の健康管理の取り組みを進めている。

【問】 シルバー人材センターの法人化について、検討するとの答弁が続いているが、広域化も含めシルバー人材センターと町当局が一緒になって結論を導き出すべきであると思うが。

【答】 今後、広域化については、研究し一つの選択肢として考えられるのであればシルバー人材センターの事務局に向けても提案していきたい。法人化については、年度末に一定の結論を出すよう努力する。

【問】 有害鳥獣対策事業について、イノシシ・サルシカの被害は深刻であるが、サル追い払いはどういった調査を実施しているのか。また、シカの状況は。

【答】 サルの出没した際の追い払いとその場所における農作物の被害調査及び頻度を調査している。また、シカについては狩猟期以外には88頭、狩猟期には199頭、合計で287頭が捕獲された。

【問】 うじたわら学び塾について、具体的な事業の取り組み内容と、スタッフ等で参加していただいた方々の思いなどもふまえて、どのように評価しているのか。

【答】 具体的な取り組み内容としては、英語をテーマとした中学生の英検対策講座、漢字検定での合格をめざす講座、絵手紙、茶道教室、また、本事業の目的である「自ら学ぶ、考え方を学ぶ」というのをテーマとした何でも相談室という事業を展開し、職員も充実感を持って取り組むことができた。

討論 一般会計決算認定

【反対】

(今西久美子議員)

町長は「住民の声を聞くことは重要である」と言うが、新庁舎の建設予定地、小中学校の施設一体型の決定にあたっては、住民の声を聞いたとは言いがたい。新庁舎でいえば「なぜ砂利採取跡の埋立地なのか」等、住民の率直な疑問に答えていない。小中学校の施設については、住民に説明もせず、まちづくりや防災、財政面などの議論もなまま結論づけたことは重大な問題。まちづくりの主役である住民を無視する町長の姿勢を指摘し、反対とする。

【賛成】

(山内実貴子議員)

宇治田原山手線整備事業では、住民会議とともに活動。本年2月に新規事業採択、平成29年度京都府予算に事業計上されるに至った。新庁舎建設計画事業では基本計画を策定し、積極的に事業を推進。今後も、情報開示や丁寧な説明を。子育て世代の負担軽減・環境の形成や、認知症対策のカフェの設置、更に「ハートのまち」のPRや観光振興、空き家対策等にも積極的に取り組まれた。今後も、住民のため、引き続き各種施策に積極的な取り組みを期待する。



広場に設置されたトレーラーハウス (くつわ池)

予算特別委員会

「お茶の京都」エリアイベントとして、宇治田原町で開催する全国茶香大会経費500万円、町内観光周遊バス試験運行経費31万2,000円等、総額909万7,000円の補正予算を審査、全て可決。

一般会計 (議案第49号)

うに考えているのか。

答 このイベントを好機

問 お茶の京都推進事業

と捉え、今後につながる

について、エリアイベン

ように進めていきたいと

トとして全国茶香大会

考えている。京都府を筆

を開催するにあたり、来

頭に組織している実行委

訪者に対する「おもてな

員会において東京方面や

し」と宇治田原町のPRが

各地でのイベントでプー

重要であると考ええる。

スを構えるとともに、京

町内外へのPRはどのよ

都市内や宇治でもお茶の

人事案件

教育委員会委員の任命同意



山本 薫氏(岩山)

任期

平成29年11月26日
〜平成33年11月25日

京都ハウスとしてお茶の京都のPRをしている。さらに、全国の茶関係団体などにも声掛けをしていく中で宇治田原町は日本

町内の観光スポットで、既存の路線バス等の交通がない地域を対象としている。

緑茶発祥の地でもあるということをPRしていきたい。

カリキュラム・マネジメント調査研究事業について、モデル的に実施するのは、本町では1校

サブ会場となつている湯屋谷の交流拠点、大規模集団茶園の整備状況

また、田原小と宇治田原小は、同時に取り組みを行うのか。

全国茶香大会までの湯屋谷茶工場改修工事完成は厳しい状況にある。

国の事業で指定を受けているのは、全国で12地域である。

大規模集団茶園の整備については、これから秋にかけて工事を進めイベントに間に合う予定である。

京都府内においては、本町と京都市の教育委員会となっている。

町内観光周遊バス運行事業について、運行地域が禅定寺、湯屋谷、奥山田の3地域に限定されている理由は、

平成30年度から両校で実施する計画としている。

町内観光周遊バス運行事業について、運行地域が禅定寺、湯屋谷、奥山田の3地域に限定されている理由は、

平成30年度から両校で実施する計画としている。

町内観光周遊バス運行事業について、運行地域が禅定寺、湯屋谷、奥山田の3地域に限定されている理由は、

平成30年度から両校で実施する計画としている。

町内観光周遊バス運行事業について、運行地域が禅定寺、湯屋谷、奥山田の3地域に限定されている理由は、

平成30年度から両校で実施する計画としている。

町内観光周遊バス運行事業について、運行地域が禅定寺、湯屋谷、奥山田の3地域に限定されている理由は、

平成30年度から両校で実施する計画としている。

町内観光周遊バス運行事業について、運行地域が禅定寺、湯屋谷、奥山田の3地域に限定されている理由は、

平成30年度から両校で実施する計画としている。

町内観光周遊バス運行事業について、運行地域が禅定寺、湯屋谷、奥山田の3地域に限定されている理由は、

平成30年度から両校で実施する計画としている。

町内観光周遊バス運行事業について、運行地域が禅定寺、湯屋谷、奥山田の3地域に限定されている理由は、

平成30年度から両校で実施する計画としている。

公共下水道事業特別会計 (議案第52号)

問 郷之口中継ポンプ場

置されたもう1台は大丈夫なのか。また、ポンプの耐用年数は何年か。

答 平成26年に設置した

ものであり、平成12年設置の1台については、異常は見られない。また、耐用年数は15年である。

ポンプ修繕について、3

台中2台が平成12年設置

ということであるが、残

りの1台は、いつ設置されたのか。平成12年に設

置されたもう1台は大

丈夫なのか。また、ポン

プの耐用年数は何年か。

置されたもう1台は大

文教厚生常任委員会

都市公園条例の一部改正 (議案第54号)

問 テニスコートの使用

料が低い設定であったが、3倍以上という料金

になることに利用者の声

意を聞いている。

答 「サービスを受ける

ことに一定程度の料金を支払う必要がある」等の

意見を聞いている。



猿丸神社

総務建設常任委員会

町道路線の認定
(議案第55号)

町道費田立川線について、起点と終点の高低差は。

約10mの高低差となる予定である。

お茶の京都交流拠点整備推進事業
湯屋谷茶工場改修工事
申請負契約の締結
(議案第64号)

工程表の提出は。

常任委員会に提出するとともに事業の進捗についても報告する。



リノベーションされる湯屋谷茶工場

討論

反対

(山本 精議員)

町道費田立川線は、新庁舎をこの場所にするがために必要となる道路。砂利採取跡の軟弱地盤であることや、住民の利便性を考慮し、新庁舎は別の場所がふさわしいとの立場から、現段階で本町道の認定には反対。

討論

賛成

(浅田 晃弘議員)

町道費田立川線は、新都市創造ゾーンの基盤整備として、必要不可欠な道路である。

立川地域の方々にとっては新庁舎建設予定地へのアクセス道路であり、防災公園への避難経路として重要な路線となることから賛成である。

研修報告 総務建設常任委員会

総務建設常任委員会は、平成29年7月12日～13日にかけて和歌山県印南町及び紀美野町へ定住・移住施策等について視察研修を実施した。

和歌山県印南町

急激な人口減少のため、和歌山県が推進している定住・移住施策と連携した取り組みを推進している。県の助成を受け、ワンストップパーソン(専任職員)が窓口となり、移住希望者の対応を行い、受け入れ協議会である印南町移住推進協議会が、県外からの移住希望者の相談や支援の対応を行っている。

●空き家バンク制度

①空き家利用希望者登録申込書に記入し役場へ提出②利用希望者と所有者の連絡先を通知③利用希望者と所有者で契約を行っている。

和歌山県紀美野町

印南町と同様に、ワンストップパーソン(専任職員)が窓口となり、相談を一手に引き受け、町と受け入れ協議会とが連携し、移住者が地域にスムーズに溶け込めるようサポート。県外からの移住希望者の相談や支援の対応を実施している。

●移住定住支援補助制度

①若年移住者暮らし奨励金②移住者滞在費補助金、移住者起業補助金③移住者農林水産就業補助金④移住者継行業支援プロジェクト⑤空き家改修補助金⑥空き家片付け補助金

●きみの定住支援活動

①きみの定住を支援する会と町と協働関係②相談会の実施③交流会④短期滞在施設と生活体験施設⑤家の修理、古民家再生、農業ワークショップ⑥空き家の調査⑦定住後の相談⑧転入、転出、引越⑨キミセーフ

【両町を振り返って】

賃貸住宅家賃助成や新築住宅助成等、住居に対する経済的負担の軽減と、子育て支援が充実しているため、安心して子育てができる環境づくりが整い、若者が町外へ転出しない取り組みの成果が出ている。また定住相談に時間をかけておられ、相談段階で本心に定住意欲があるかをしっかり見極め対応され、地域の方々を中心に組織する「定住を支援する会」がその役割を果たすことで、うまく機能している。移住定住に向けての取り組みは大いに参考になった。



- 若者定住施策
- ①賃貸住宅等家賃助成
- ②新築住宅等取得助成
- ③転入者用生活応援セット
- ④医療費の無料化
- ⑤子育ていなみっ子施策
- ⑥

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	谷口重	松本	垣内	馬場	浅田	原田	山本	藤本	山内	今西	谷口整
人事	議案第 63 号	宇治田原町教育委員会委員の任命について(山本薫氏)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	議案第 49 号	一般会計補正予算(第2号)(お茶の京都推進事業の追加など)【9,097千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 50 号	国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)(国庫支出金等返納金の追加など)【4,857千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 51 号	介護保険特別会計補正予算(第1号)(過年度分国府支出金返還金の追加)【4,242千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 52 号	公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)(管渠等施設維持管理費の追加)【2,000千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 65 号	一般会計補正予算(第3号)(衆議院議員総選挙執行費の新規)【7,800千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第 53 号	風致地区条例の一部を改正する条例を制定するについて(水防法等の一部改正に伴う、条項整理)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 54 号	都市公園条例の一部を改正する条例を制定するについて(テニスコート施設使用料の見直しなど)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第 55 号	町道路線の認定について(費田立川線延長 300 m)	✓	✓	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第 56 号	辺地総合整備計画(奥山田辺地)の変更について(整備計画<消防施設、公園等>の変更)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 64 号	お茶の京都交流拠点整備推進事業 湯屋谷茶工場改修工事請負契約の締結について【契約金額 79,596千円】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算認定	議案第 57 号	一般会計【歳入 44 億 2,784 万円 歳出 42 億 7,363 万円】	✓	✓	認定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第 58 号	国民健康保険特別会計(事業勘定)【歳入 13 億 4,183 万円 歳出 13 億 6,527 万円】		✓	認定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第 59 号	後期高齢者医療特別会計【歳入 1 億 2 万円 歳出 9,874 万円】		✓	認定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第 60 号	介護保険特別会計【保険事業 歳入 7 億 9,539 万円 歳出 7 億 7,953 万円】【サービス事業 歳入 521 万円 歳出 374 万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 61 号	公共下水道事業特別会計【歳入 5 億 7,535 万円 歳出 5 億 5,997 万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第 62 号	水道事業会計【収益 収入 2 億 9,968 万円 支出 2 億 6,477 万円】【資本 収入 4,294 万円 支出 2 億 3,964 万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎田中議長は賛否同数以外は表決に加わりません

一般質問

ズバリ! 町政を問う

9月7・8日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	質問事項
1	垣内秋弘 (P11)	1. 公共下水道 2. 小規模特養 3. 住民グラウンドの照明
2	今西久美子 (P12)	1. シビック交流拠点について 2. 国民健康保険について 3. 小中学校施設について
3	藤本英樹 (P13)	1. 豊かな森を育てる府民税の活用について 2. 通学路の安全対策について
4	山内実貴子 (P14)	1. 子育て支援について 2. 新庁舎建設予定地の整備について 3. 生涯学習について
5	谷口 整 (P15)	1. 家康の伊賀越えの道整備について 2. 放課後児童健全育成事業について

	質問者	質問事項
6	山本 精 (P16)	1. 就学援助について 2. 介護保険について
7	浅田晃弘 (P17)	1. 防災について 2. 住民サービスについて
8	原田周一 (P18)	1. 防災対策について
9	松本健治 (P19)	1. 地域創生総合戦略の取り組みについて 2. 喫煙と健康問題について
10	馬場 哉 (P20)	1. 新市街地の土地利用計画 2. 教育施設の一体型整備

傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴券は本会議当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

「公衆下水道」整備地域の見直しは

【答】今年度中に見直しを完了する予定



垣内 秋弘
議員

【質問】

公共下水道整備地域の再検討見直し対象地域の立川糠塚上手、湯屋谷地域、南上ノ山等で整備条件や地域の特性はもとより住民の声を反映する中で判断材料になると思いますが、見直しの考え方は。

【答弁(上下水道課長)】

経済性の検討結果に時

間軸を加えて、整備スケジュール、収支計画、財政計画を考慮し検討中。

また、地域の方の意見を聞き総合的に判断し今年度中に見直し完了予定。

【質問】

面未整備地域において、水道管の破裂による漏水の発生頻度が非常に高い。特に立川地域の通

峰線では15か所以上の修理地があり、先行して水道管だけでも早急に更新すべきだ。

【答弁(上下水道課長)】

当分の間整備できない

いつ決まるのか小規模特養は 【答】施設整備に向け努力し鋭意取り組む

【質問】

地域密着型特別養護老人ホームは現在塩漬け状態になっているが、計画当初から高齢者施策の重要課題である。条件面で改善、支援策を加えた取り組みも必要だ。現状での検討状況は。

【答弁(町長)】

今年度に入ってから事業予定者決定に向け、個別にアプローチを行っている。現在、第7期介護福祉計画の策定作業中で、高齢者が地域で安心して暮らすことができるよう、サービスに対する意識やニーズ等を把握

し、実情に即した計画となるよう策定委員会での検討をいただくとともに、併せて施設整備につ

いても実現に向けて鋭意努力して取り組んでいく。

樹木が茂り照明がブラインド

【答】本格的な伐採は次年度対応する

【質問】

住民グラウンドのナイター照明は樹木が茂り照明がグラウンドまで届かず端々が暗い状態である。特に高齢者がグラウンドゴルフを実施の際見にくい状態である。年々枝が伸びる為早急に枝の伐採と定期的な伐採計画が必要。

【答弁(社会教育課長)】

樹木は年々枝が伸びて、丈・幅とも大きくなっており高所部分が照明を遮っているため、本年度において一部は伐採して、大木の状況と照明に支障が生じていることから、次年度以降、対応したいと考えている。



下水道面設備



茂った樹木で照明が届かない



新庁舎建設予定地周辺埋立地

新庁舎建設予定地 周辺の安全性は

【答】心配ないと考えている

【質問】

新庁舎現建設予定地

は、埋立地の軟弱地盤で

あり、災害時、周辺道路

が寸断され、庁舎が孤立

することも考えられるの

では。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

建設予定地一帯は、浸

水想定区域や土砂災害特

別警戒区域ではなく、災

害に強い場所である。地

盤試験等調査、確

認する中で、道路

設計を行い整備す

ることから心配な

いと考えている。

【質問】

全国で土砂災害

警戒区域でなくて

も土砂災害が起き

ていることを教訓

にすべき。心配な

いという根拠は。

【答弁(副町長)】

道路を築造する

にあたっては、事前に地

質調査を行い基準に従っ

てつくる。安全に利用い

これ以上、保険税を引き上げるな 【答】保険者としてさらに努力する

【質問】

来年度から、国民健康

保険が広域化され、府が

市町村ごとの納付金、標

準保険料率等を決定する

こととなる。保険税の負

担増が懸念されるが、ど

うなるのか。

【答弁(介護医療課長)】

来年1月に納付金等が

公表される予定であり、

保険税がどうなるのかは

いまだ見えない状況。

【質問】

国保会計への一般会計

からの繰り入れは、町の

姿勢が問われる。広域化

となっても保険税が上が

らないよう、これまで通

り一般会計からの繰り入

れを。

【答弁(町長)】

繰入金については状況

をみる中で判断すること

とし、さらなる保険者努

力に努める。



今西久美子
議員

小中学校施設について一から議論を 【答】今後、町全体で連携して取り組む



地域から小学校がなくなる?



の結果を住民に示して一から議論すべきでは。

【答弁(町長)】

教育委員会で、小中一

貫教育の成果、課題につ

いて整理し、適正規模、

地域の支え等の視点も含

め総合的に一体型(隣接

型)という方向性を導い

ていただき、総合教育会

議で確認しながら進めて

きた。今後、町全体で、

関連各部署が連携し取り

組んでいく。

【質問】

教育委員会が小中学校

施設を一体型(隣接型)

とする結論を出したが、

住民に説明もなく、まち

づくりや防災の観点、地

域住民の感情、財政面な

どについては議論されて

いない。教育委員会案を

もとに課題を整理し、そ

豊かな森を育てる 府民税の活用は

【答】府内産木材の循環利用を目的に進める



藤本英樹
議員

【質問】

豊かな森を育てる府民税は「森林の整備・保全」、森林資源の循環利用が、その税収額と活用実

用と森林の重要性についての府民理解の促進」を

績は。

【答弁(産業観光課長)】

平成28年度、京都府全体試算で約6億8千万円の税収実績があり、うち約280万円が本町賦課額である。

活用実績については、

くつわ池入口の木製看板の設置や、町立保育所一時保育施設建設工事に充当している。

【質問】

「豊かな森を育てる府民税」には、荒廃した森林の整備、山地災害の危険性が高い森林に対する予防事業があるが、森林保全事業の実績は。

【答弁(産業観光課長)】

本府民税は、新規や拡充の事業が対象であり、既存補助制度が適用されている事業については対象外となっているため、最も効率的な方法で事業推進していく。

【質問】

プロジェクト枠を活用した事業推進を。

【答弁(町長)】

プロジェクト枠は、特に効果が高い事業を府が審査することになっており、効果的に活用していく中で森林整備や循環利用につなげていく。



くつわ池入口木製看板



雑草がおおい茂った通学路

通学路の点検・除草対策は 【答】道路管理者と連携し、可能な範囲で対応する

【質問】

山間部を通学している小中学生の通学路は、雑草がおおい茂っている箇所が見受けられ、保護者やボランティアの方々ができる範囲で除草されているが、教育委員会として安全対策をどのように考えているのか。

今後、宇治田原町通学安全推進会議でも協議を行い、場合によっては通学路の変更も視野に入れて対応していく。

【答弁(教育部長)】

雑草は一度刈ってしまったばよいというものではない。

新生児聴覚検査の実施と公費助成を

【答】近隣との連携図りながら判断する

【質問】

先天性難聴は、早期の適切な指導で言語発達の効果が得られるとされ、新生児聴覚検査の受診が有効。この検査の実施状況と公費助成への考えは。

【答弁(健康児童課長)】

先天性難聴は、早期のうち20人が新生児聴覚検査を受けていたが、検査を実施していない医療機関等での出産も多い。今後は、府や近隣市町と連携を図り、費用助成等についても判断したい。

【質問】

本町の子育て支援の目玉は。

【答弁(健康児童課長)】

本町のことが、本町の強み。子育て世代を取り巻く環境やニーズ等を把握し、子育て支援の充実を図っていく。



山内実貴子 議員

防災拠点としての整備を 【答】施設整備について研究し設計に反映

【質問】

新庁舎建設予定地の都市公園に、マンホールトイレやかまどベンチなど防災拠点としての整備を。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

新庁舎に隣接のふれあい広場に、健康遊具の設置を。

【質問】

他市町の状況など研究し、設計に反映させたい。

【質問】

取組に熱意を感じる町立図書館事業だが、参加者の減少等課題も感じ。今後の取組や展開は。

【答弁(社会教育課長)】

利用者の利便性を高めるシステム導入、選書方法の見直し、世代に合ったサービスの展開等、課題と取組方法を整理し、実施に向け検討を進める。

【質問】

寺子屋うじたわら学び塾は、小中学生だけでなく、高校生や大学生、町内の団体等の協力で、交流も生まれている。今後の方向性は。

【答弁(教育部長)】

引き続き実施を考えている。参加者アンケートや指導者の指摘、意見を踏まえ、見直しも行っていきたい。



子育て支援の拠点(子育て支援センター)

【答弁(プロジェクト推進課長)】

防災公園と位置付け、マンホールトイレの設置は必要と認識している。かまどベンチ等の整備も

【答弁(プロジェクト推進課長)】

既存の運動公園との関係も考慮し、引き続き検討していく。

町立図書館、今後の取組と展開は

【答】課題と取組方法を整理し検討する



防災公園に設置されたマンホールトイレ(京田辺市)

「お茶の香り街道」整備を

【答】「お茶の香り街道」を視野に整備・管理したい



谷口 整
議員

【質問】

「家康伊賀越えの道」の内、未整備区間の上大福く松峠区間を日本緑茶の始祖永谷宗円翁の茶園跡の復元等「お茶の香り

街道」として整備し、家

康や宗円さんへの想いを馳せながら湯屋谷から奥山田に至る歴史街道周遊コースの整備をできないか。

【答弁(町長)】

先日現地踏査し、街道沿いの茶畑や緑の山々に茶の香り、木の香り、草の香りそして家康と宗円さんの歴史を感じる道だった。湯屋谷から上大福、奥山田正寿院、遍照院へと歩く観光コースとして魅力的なルート。「日本緑茶発祥の地」としてのブランド価値を発信する本町の課題に対する素晴らしい提案。「お茶の香り街道」も視野に入れ、歴史や文化が感じられる風景をしっかり守っていく対策を進めたい。

学童保育事業指導員体制等の強化を 【答】充実に向け体制強化を進める

【質問】

現在の各校2名の指導員体制では、指導員1名休暇時に臨時職員のみでの時間帯が発生する。指導員の増員と臨時職員の研

修実施等体制強化できないか。

【答弁(社会教育課長)】指導員不在の時間帯は課題と認識している。早急に研修を含む指導員体

制や学童保育事業の質の向上に向け、取組を整理

し体制強化について前向きに進めていきたい。

【質問】

まるやま交流館の学童保育以外の利用状況は年間6〜7件程度。利用実態から見ても、学童保育専用施設として再整備し

【答弁(社会教育課長)】

多目的ホール内の囲炉裏等は利用がなく、学童保育時には気を付けなければならぬ箇所である。学童保育専用施設という選択肢も視野に、利用形態や施設の状況など早急に課題を整理し、方向性を協議したい。

てはどうか。



整備が待たれる伊賀越えの道(上大福付近)



一般利用が少ないまるやま交流館

入学準備金の前倒しを

【答】近隣市町等の動向を見て整理

【質問】

経済的に困っている家庭の小中学生が受けている入学準備金について、要保護児童生徒の支給は入学前の3月に支給している。主要保護児童生徒の入学準備金は現在8月頃の支給である。入学準備金の前倒しは全国的に

広がりを見せている。いずれ支給することになるのだから、せめて要保護児童生徒並みに3月支給に取り組みべきでは。

【答弁(教育部長)】

教育委員会としては、近隣市町等の動向と合わせ、所得確認方法、支給後の転出された場合の取



通学する中学生

り扱い等々、整理しなければならぬ事項もあると認識しており、近隣市

町等と意見交換を図り整理する。



山本 精 議員

介護保険の総合事業化の影響は 【答】従来と同様の基準で実施している

【質問】

介護保険について、2015年に介護保険制度が改悪され、「要支援者

合事業化された。移行後の利用者への影響はあるのか。

【答弁(介護医療課長)】

1、2」の介護サービスを保険給付から外し、市町村が担う「総合事業」へ移行した。無資格者が行う「基準緩和サービス」や、ボランティアによる体操教室などの安上がりなサービスへ置き換えられ、今年4月から総

町では訪問介護・通所介護サービスについて、従来と同様の基準で実施しているため、いまのところ影響はなく問題はないと考えている。

【質問】

第6期宇治田原町高齢者介護・福祉計画の中

で、29年度の入所待機者を40人と見込み、うち29人規模の地域密着型特別養護老人ホームを整備するとして介護保険料を改定し増額したが、前年度予算で全額減額補正されている。その分の介護保険料を徴収するのは約束違反。第7期で減額すべきでは。

【答弁(介護医療課長)】

平成30年度からの介護保険料については、介護事業計画等作成委員会において、施設整備の状況や要介護認定者数・給付見込額等を推計する中で、適正な保険料の設定に向け、協議していく。



認知症予防の体操をしているみなさん

タイムラインの有効活用を

【答】タイムラインの策定に取り組む

【質問】

タイムラインは、台風等の豪雨による災害を予測し、行政や住民が取るべき行動を時系列でまとめた防災行動計画である。

このタイムラインによ

り被害の最小化、被害規模の軽減等を図ることができる。国交省が示しているタイムラインの策定を早急に行い、活用すべきでは。

【答弁(総務課長)】

防災行動計画を作成することで①事態の推移に応じた確な対応②町、企業、住民等が相互に連携した対応③災害発生前

の早めの対応により被害

を最小に資することが期待できることから、本町についても、タイムラインの策定にむけ取り組んでいきたい。



浅田晃弘 議員

住民サービスの向上を

【答】住民にやさしい行政をめざす

【質問】

ごみを搬出することが困難な家庭を訪問し、ごみの収集を行うという取り組みが始まったが、この事業と外出が困難な方の申請手続き等を職員が行い、町が発行する各種証明書をお届けするなど、住民サービスの向上

を図っては。

【答弁(建設環境課長)】

今年度から実施している「ふれあい収集」事業については、関係各課と連携し、事業を実施している。この事業を行う際には対象者に声掛けをし、返事や反応がない場合は、町の所管課に報告

をするようにしている。

【質問】

高齢者等のお家を訪問する時に「役場に何かご用はありませんか」と一言添え、その事柄を担当課に報告し、対応をしてみようことで外出困難者の手助けができないか。

【答弁(町長)】

住民にやさしい行政をめざし、高齢者や外出が

困難な方に対する支援は非常に重要なことである。自宅訪問時には、申請書類等を預かったり、必要書類を届けたりするなど便宜を図っている。今後も住民目線で住民ニーズに答えられるよう、必要とされる方に手をさし伸べる行政をめざしていきたい。



防災訓練 土のうづくり大変でした



窓口カウンターにて、申請のようす

広域避難場所看板設置は

【答】道路管理者と協議の中で取り組む



原田周一
議員

【質問】

広域避難場所は、各々ラウンドの他、銘城台自然公園・てんじんやま公園が指定されているが、場所を示す看板などがない。整備についてどうか。

【答弁(総務課長)】

看板(表示)の設置については、道路管理者と協議の中で取組む。トイレの施設整備の常設は維持管理面から難しい。災害発生時は臨時的対応を考える。

【質問】

飲料水の確保は非常に重要であり、災害時には1人当たり3ℓの飲料水が必要となるが対応は。

【答弁(総務課長)】

町内4配水池に飲料水を確保していく。3ℓを目安に3日分程度自らの備蓄が必要と考えている。

【質問】

防災公園予定地は砂利採取跡地である。建設資材や重機の搬入など重量車両など出入りするが、土壌の安定性は。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

救援活動拠点として自衛隊や、広域消防・救助

の集結拠点、大型車輛の駐車スペース等想定箇所に耐え得るだけの耐圧路盤等を施す事により安定性は確保できる。

【質問】

大雨などの際、土中への浸透の懸念の声があるが。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

土壌の調査結果として透水性には優れている。調整池の規模は府と協議する。

有事の際の飲料水については、耐震性貯水槽と造水器の設置を検討している。

【質問】

防災公園整備事業にか

ける町長の思いは。

【答弁(町長)】

安心して過ごせる公園の整備が必要。防災機能を有した公園として避難地や救護活動の拠点として活用出来るよう整備する事が災害に強い町づくりを推進出来ると判断した。

【質問】

土砂災害は未間伐による要因や切り出された材

【質問】

現在の補助事業を検証する中で検討する。



間伐材が放置された山



看板のない広域避難場所

「木の駅」事業の実施を

【答】まず社会実験として実施へ



鳥取県智頭町の木の駅事業

【質問】

森林面積78%の本町では山の荒廃が進み、防災面においても、倒木・流木などが関連して、土石

流などの災害を誘発する懸念がある。さらには環

境面においても本来の良

化する役割を果たせなく

なっている。それら手付

かずになっている間伐材

を持ち寄り、活用するこ

とによる「まちづくり」

として、近年全国各地に

おいて展開されつつある

「木の駅」事業につい

て、本町においても実施

としては。

【答弁(町長)】

「木の駅」事業は、環境

面、災害対策、森林経営

などを初めとする地域の

活性化など、全般に寄与

する有効な手段の一つで

あると認識している。本

町の森林の実態はご指摘

のとおりであり、先進地

事例の調査研究を行い、

できれば社会実験的に実

施できるよう支援する。

【質問】

人口減少対策で移住定

住諸施策を展開されてお

り、制度面は整ったが、

次にはいかに長く暮らし

やすい町であるかのア

ピールをしながら、ワン

ストップでの担当者の配

置や官民民で取り組む

「受け入れ組織」の早期

設置を。

【答弁(副町長)】

移住定住対策は重要課

題の一つであり、組織及

び職員体制を再検証する

中で、他の施策課題を見

定めて、ワンストップ対

応の組織体制の構築も含

めて柔軟に改革したい。



松本 健治
議員

健康問題から喫煙対策の強化を

【答】喫煙対策の先頭に立つ

がんリスクと喫煙

	すべてのがん	肺がん	肝臓がん	胃がん
喫煙	確実	確実	確実	確実
受動喫煙	データ不十分	確実		データ不十分
	大腸がん	膵臓がん	胆嚢がん	乳がん
喫煙	可能性あり	可能性あり	可能性あり	可能性あり
受動喫煙				可能性あり



【質問】

健康寿命の延伸は、自治

体で取り組む重要な

テーマであり、本町は京

都府内25市町村で男女と

もワースト3である。喫

煙と癌など多くの病気と

の因果関係が、明確に示

されており、喫煙対策の

強化を。

【答弁(町長)】

たばこ税は貴重な財源

であるが、癌や糖尿病な

どの医療費も増大してお

り、疾病と喫煙との因果

関係も明確にされた現状

では、喫煙対策を推進す

ることの意義は大きい。

先頭に立って喫煙対策に

取り組みたい。

新市街地の土地利用計画は

【答】住民の意見を聞き検討していく



馬場 哉
議員

【質問】

都市計画マスタープラン・第5次まちづくり総合計画にそって新市街地の整備を進めていくところだと考えるが、住民サービス機能と産業・工業との複合を図りながら、町民にとっても喜ばしい、具体的なグラウンドデザインはあるのか。

【答弁(建設事業部長)】

本町周辺地域での開発動向を見据えながら、新市街地が、賑わいと活力の創出の場となるような



くつわ池・ハートのベンチ展望台から、新市街地を望む

【質問】

都市整備を図れるように、用途地域の見直し作業に取り組んでいる。引き続き、土地所有者や住民の意見を聞き検討していく。

【質問】

まちづくり総合計画にそって町が思い描くような「シビック交流拠点」に誘導していかねばならない。この新市街地エリアの庁舎周辺を、まちに

関係する人々が、誇りや愛着をもち、そして恩恵を受けようような整備を進めていかなければならない。今後本町の高齢化・福祉を考えると、看護・介護・保育・療育など医

教育施設の一体型整備は

【答】スケジュールを年度内に示す

【質問】

行政で課題整理をしていくところだと思いが、とりわけ保護者への周知が不十分ではないか。町が進める学校施設の整備に向けての考えを、どのような手段で知らせていくのか。

【答弁(教育長)】

諸課題を整理しながら検討している。教育全般の関わりの一環として施設のあり方についての考え方は、依頼があれば、少人数でも丁寧に説明対応する。

【質問】

【答弁(副町長)】

人材育成のみならず、これからのまちづくりを進めるうえで、貴重な提案と認識している。京都府や関係機関との協議、また住民の意見を頂く中で、慎重に可能性を探りたい。



今年度改修が予定されている維孝館門

食生活改善推進員協議会

会長 ^{おお}大 ^{たに}谷 ^{あつ}篤 ^こ子 さん
 副会長 ^ね根 ^ぶ布 ^{まさ}正 ^こ子 さん
 // ^{いま}今 ^{ほり}堀 ^{いく}郁 ^こ子 さん



大谷さん 根布さん 今堀さん

健康長寿をめざす中、大切な食に関わって下さっている、お馴染み♡食改さんの代表の方々にインタビューしました。

Q. 主にどのような活動をしておられますか

A. 町の行事などに、46名の現委員が6つの班に分かれ当番制で活動しています。保健センターの調理室で試行錯誤しながらメニューなどを作っています。



ふるさとまつりでの活動

Q. 健康長寿をめざす中で、減塩対策等についてどのような意識を持たれていますか

A. 自宅でも減塩を意識して食事を考えています。食は大切なこと。年齢にあった食生活、また取り組みが必要だと思います。減塩と言っても急に薄味にというよりも、少しずつ慣れていく、という感じですね。だしをとり、地産地消で新鮮な旬の食材を美味しく食べて下さい。

Q. 料理指導等の中で気を使っておられることは

A. : 食生活は子どもの頃からの慣れ、3食しっかり食べ、薄味のことを摂るようにしてあげて下さい。



親子おせち料理教室

Q. 現在の社会において、好まれる料理は

A. 日持ちのする、便利な食品がたくさんあり、好まれる味=濃い味になってしまいがちですが、添加物も多いものです。薄味を心がけ、旬のおすすめメニューのレシピもスーパーなどに置いてありますので、ぜひチャレンジして下さいね。



地域の人が協力して競技を行う



茶ッピ-夏の学校行事

次回議会の予定
〈12月定例会〉
12月6日(水)開会日
詳しい予定はHPにて
お知らせします



学童保育でジャンボしゃぼん玉

編集後記

今月のスナップ写真は夏から秋にかけての行事で、各世代がつながるシーンを取り上げました。

お互いの顔が見える交流は、地域での見守りや災害など「いざ」という時に、チカラを発揮します。大切にしたい【まちのいいところ】ですね。

さて、新人議員にとっては、まもなく職について1年になります。初心を忘れず今後も、先輩議員と協力して、活発な議会活動をめざしてまいります。

本誌へのご意見・ご感想を、お寄せください。

広報編集委員 馬場